

暮らしやすい社会を目指して

大口明光学園中学校 三年 猪俣 怜那

皆さんは、今までに公共施設でユニバーサルデザインを見たことがありますか。

ユニバーサルデザインとは、文化・言語・国籍や年齢、性別・能力などの個人の違いにかかわらず、出来るだけ多くの人々が利用できることを目指した建築・製品・情報などの設計のことをいいます。ユニバーサルデザインという言葉は聞いたことがあっても、実際に何がユニバーサルデザインか知っていない人も少なくはないと思います。ユニバーサルデザインには七原則があります。公平性、安全性、自由度、省体力、単純性、空間性そして明確さです。これらの七つの原則が揃った上でユニバーサルデザインがつけられます。

私達の身近にも、実は多くのユニバーサルデザインがあります。例として挙げられるのは、自動ドア、スロープ、幅の広い改札口、音響付き信号機、教科書などがあります。その他にも、シャンプーや牛乳パックにもユニバーサルデザインが使われています。

皆さんは、今までにシャンプーかリンスを判断する事が難しいと感じたことがありますか。実は、シャンプーの容器の側面には、でこぼこがあります。それを触ることで、区別することが出来ます。その為、目の不自由な方も簡単に使用することが出来ます。目が不自由ではない人も目をつぶっていても使用できるように作られています。

二つ目の工夫されているユニバーサ

ルデザインは、牛乳パックです。牛乳の開け口の反対側には、へこみがあります。このへこみの有無によって、牛乳かそれ以外の飲み物なのかを判断することができます。いつも、気付かず飲んでいくけど、実は細かい所まで工夫されています。

これらの例を聞いて、身体に障がいのある方の為に作られた設計と思う人もいると思います。ですが、その設計のことをバリアフリーといいます。バリアフリーは、特定の方にとって障害となるものを取り除き、利用できる状態とすることで、設計思想の段階においては障害が考慮されておらず、後から取り除く考え方の事をいいます。一方、ユニバーサルデザインとは、設計思想の段階から誰もが利用しやすいように考えられており、はじめから障害がないように配慮されています。

ユニバーサルデザインは、恐らく皆さんが思っている以上に多く存在していると思います。実際に、多くのユニバーサルデザインが存在していて、人々の暮らしを手助けしています。私のような学生にとって、一番身近である教科書には多くの工夫があります。見やすい色づかいや線の形や模様の違いを加えることで、情報を確実に識別できるようになっています。また、学びやすいレイアウトにしたり、読みやすいフォントを使うことで、私達学生が充実して勉強に取り組むことが出来るようになっています。

私達が、今暮らしの中で、困ることなく生活出来ているのは、ユニバーサルデザインのおかげです。全ての人々が、安全に過ごせるように生活に役立つようなユニバーサルデザインが、今以上に増え

てほしいと思います。そして、ユニバーサルデザインのことを知る人が増えて、世の中の人々の意見を集めて全員が不自由なく過ごせる社会になってほしいと思います。障がいのある方だけを特定して、その為の設計をするのではなく、若い人から高齢の方までの皆に「過ごしやすい社会だな」と思われるユニバーサルデザインを私も考えていきたいです。